

重点事業3

評価対象年度

令和5年度

事業期間 令和2年度～令和10年度

事業名 蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト

事業概要

- ①蜷塚遺跡再整備：保存活用計画の策定（R2～R3）、蜷塚遺跡発掘調査（R4）、整備基本計画の策定（R5）
 ②博物館資料再整理：伊場弥生資料（R3）、円頭大刀（R4）、銅鐸群（R5～R7）、伊場古代資料（R8～R10）
 ③博物館施設改修等：基本計画（R4）、業者選定（R5）、実施設計（R6）、改修施工（R7）
 ④博物館管理運営部門の整備改修：リニューアル基本構想の策定（R3～R4）、アドバイザー委託（R5）、計画設計委託、施工等（R6～R7）
 ⑤伊場遺跡再整備：保存活用計画の策定（R4）、整備基本計画の策定（R5）、実施設計（R6）、整備工事（R7）

実施状況

- ①蜷塚遺跡再整備：整備基本設計の一部を実施した。過去の出土品や調査記録等を再整理し、パンフレットを作成した。先進地視察（北海道北黄金貝塚ほか）を行った。
 ②博物館資料再整理：伊場遺跡群出土弥生時代資料の再整理や理化学分析を行った。
 ③博物館施設改修等：リニューアル基本構想を策定した。リニューアル事業に係るサウンディング型市場調査を実施した。先進地施設（新潟県十日町市博物館ほか）を行った。
 ④博物館管理運営部門の整備改修：同上
 ⑤伊場遺跡再整備：成長した植栽の剪定、復元家屋の修繕を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針

- ①蜷塚遺跡再整備：老朽化が進んでおり、UD対応、遺構の保護、展示手法の見直し等課題が多く、調査研究や啓発事業もあまり行われず、遺跡への市民の関心が低下している。魅力ある再整備を行い、活用促進を図る。
 ②博物館資料再整理：歴史的価値の高い収蔵資料は多いが市民の認知度が低い。出土品の再整理や調査研究を進めてその成果を活用して資料の価値を多くの人へ周知する。
 ③博物館施設改修等：施設の老朽化が進行しUD対応の不備等設備面の課題は多いが、諸事情により基本計画以降のスケジュールが不透明である。リニューアル基本構想を踏まえ、できるだけ速やかに設備の追加や更新の計画を進めていく。
 ④博物館管理運営部門の整備改修：資料収蔵、調査研究、展示公開、教育普及の基盤機能に加えて、来館者が学習したり、快適に過ごすための機能がハード・ソフトの両面で不足しているが、諸事情により基本計画以降のスケジュールが不透明である。リニューアル基本構想を踏まえ、できるだけ速やかに社会情勢や市民ニーズを踏まえた整備方針を検討する。
 ⑤伊場遺跡再整備：遺跡の重要性を市民に伝えきれていない。普及啓発事業の促進や再整備の検討、指定史跡化に向けた調整などを行っていく。

計画進捗

進捗評価

今後評価

B 遅れている

A 現状維持

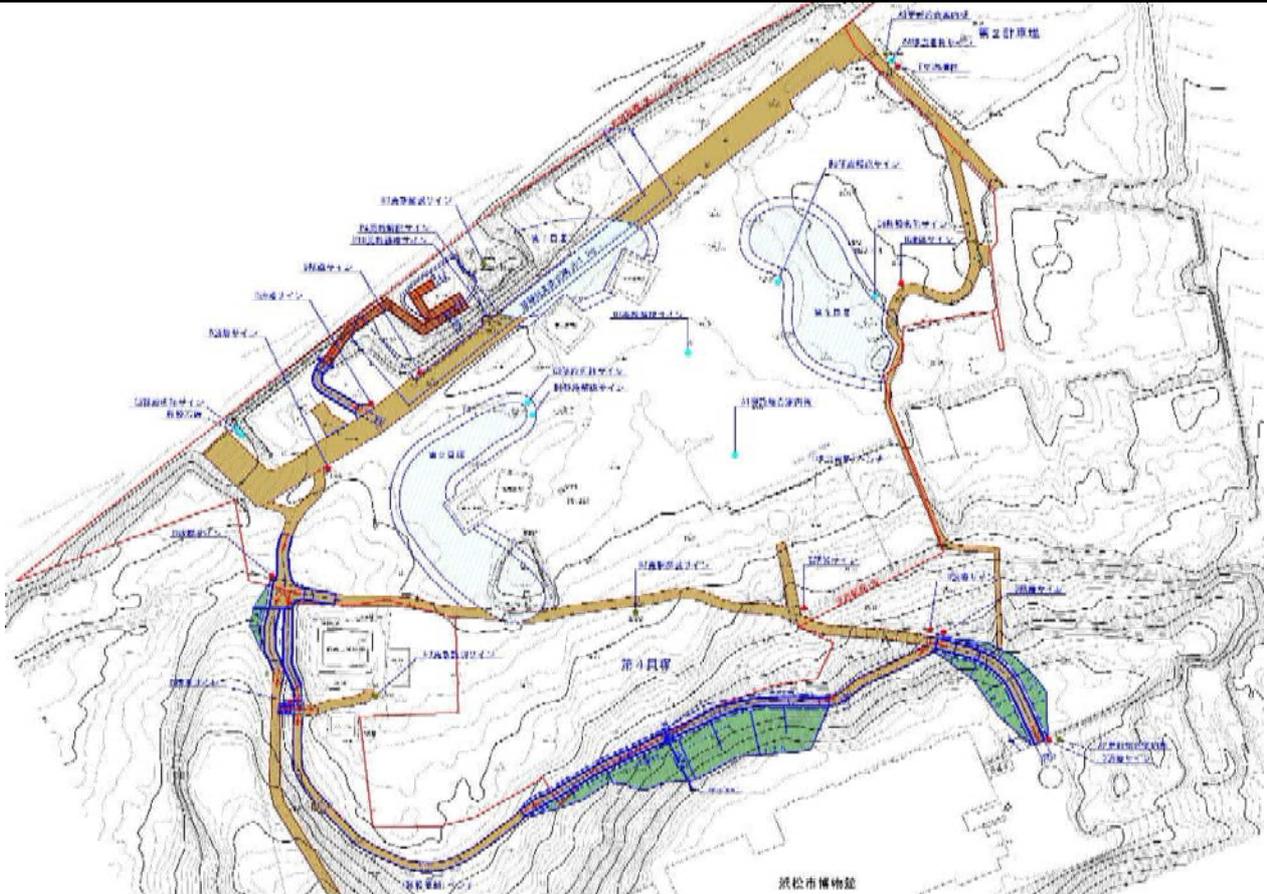
A 事業継続

総合評価

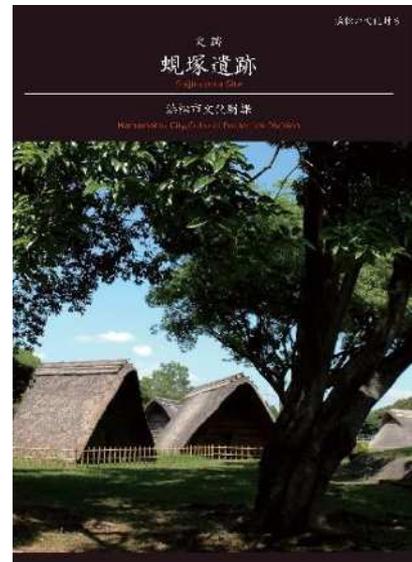
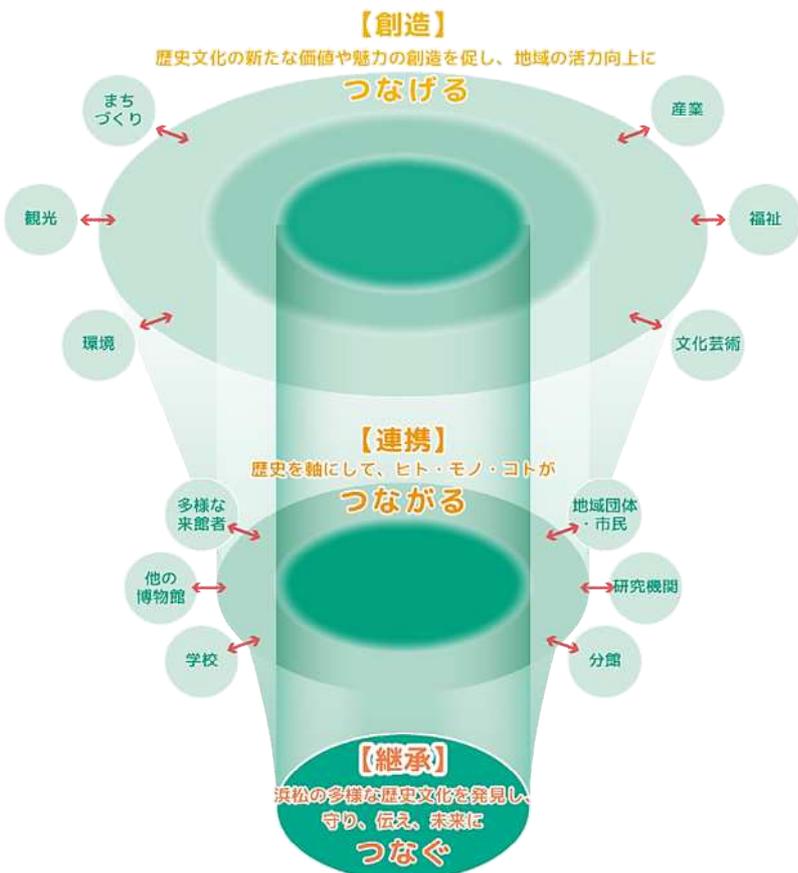
蜷塚遺跡再整備事業はほぼ予定通り進捗しているが、設計が1年遅れを生じている。博物館資料の再整理は伊場遺跡群の弥生時代資料が一段落するのを待って、他の資料を進めていくためやや遅れを生じている。博物館のリニューアルについては、基本構想を策定し、今後、基本計画の策定に向けて検討・調整を進めていく。伊場遺跡の再整備については、蜷塚遺跡再整備を優先させているため、現状では環境整備に努めている。

進捗評価については、大幅なスケジュールの見直しが必要な事業はないため、現状維持の評価とした。今後評価については、各事業に廃止や統合の予定はなく、いずれも必要な事業として事業継続の評価とした。

今後は、蜷塚遺跡の整備事業と博物館リニューアル事業を中心に、資料再整理など相乗的な効果を得られるよう留意しながら事業を進めていく。



蜷塚遺跡整備基本設計図(案)(前期整備)



蜷塚遺跡パンフレット



リニューアル基本構想における博物館の将来イメージ
浜松市

伊場遺跡出土木製よろいの蛍光X線分析